

目次 Contents

- 3 65歳以上の方への新型コロナウイルスワクチン接種が始まります
 - 4 まちの話題
 - 6 第二次総合計画後期基本計画を策定しました
 - 8 高齢者保健福祉計画を策定しました
 - 9 地域で活躍している自治会長を紹介します
 - 10 令和3年度当初予算
 - 12 令和元年度財務書類を公表します
 - 14 路上喫煙の防止に関する条例を施行します
 - 16 保健便り
 - 21 生涯学習だより
 - 22 環境トピックス
 - 24 障がい福祉瓦版
 - 25 地域おこし協力隊通信
 - 26 新・下野市風土記
 - 27 農業委員会だより
 - 28 レッツスポーツ
 - 30 図書館だより
 - 32 国民年金だより
 - 33 暮らしの情報
 - 46 5月のカレンダー
 - 47 キプロス通信
 - 48 イベントカレンダー
- ※令和3年度グループ編成・事務分担表Ⅰ～Ⅳ
- ※掲載写真の一部は、撮影時のみマスクをはずしています。

今月の表紙

しもつけ風土記の丘資料館 装いも新たにオープン

今月の表紙は、5月2日(日)にリニューアルオープンするしもつけ風土記の丘資料館の様子です。リニューアル内容については、広報しもつけ3月号の「新・下野市風土記」と4月号で特集しています。

中央にあるのが、展示の目玉のひとつ、「機織形埴輪」です。機織形埴輪は、平成16年に甲塚古墳で出土しました。女性が機を織る様子が表現されている埴輪は全国でも例がなく、平成29年に国の重

要文化財に指定されています。

館内は、展示内容を一新し、下野市の周辺地域が歴史上、重要な役割を果たした時代の展示を充実させました。古墳時代から奈良時代にかけての数々の謎を提示し、観覧者が謎解きのように自分で考えながら見学できる展示を目指しています。

工夫を凝らした展示を手掛かりに、古代の下野市の姿をひも解いてみませんか？

今月の何の日

5月14日 種痘記念日

1796年のこの日、イギリスの外科医エドワード・ジェンナーが、人類で初めて種痘（天然痘ワクチン）の接種に成功したことに由来しています。

天然痘は、その致命率の高さゆえに、3000年以上前から人々に恐れられてきた伝染病です。また、治癒した場合でも顔や身体に跡が残ったため、当時ヨーロッパでは、肖像画を描くとき、これらの跡は描かないのが暗黙の了解とされました。

ジェンナーは、バークレイという酪農の盛んな地域で育ち、ロンドンで医学の修行を終えた後は、故郷で開業医になりました。そこで、乳搾りの女性たちが天然痘にかからないことに注目し、牛痘という病にかかった人の手にできる水ぶくれの中に、天然痘を予防する物質があるのではないかと

思いつきます。

庭師の息子ジェームズが実験台となり、牛痘にかかった女性の水ぶくれから取り出した液体の接種を受けました。その後、少年は天然痘の接種を受けましたが、発症することはありませんでした。

ジェンナーはこの実験結果を基に研究を続け、やがてその成果を発表しました。医学界の反発や、牛痘を接種すると牛になるという迷信などに阻まれつつも、ジェンナーの種痘法は世界中に普及し、ついに1980年、WHO（世界保健機構）が天然痘の撲滅を宣言するに至りました。

ちなみに、ワクチンという言葉は、ラテン語で雌牛を意味するvacca（ワッカ）からきています。ジェンナーの業績を記念して名付けられました。

■人口と世帯（4月1日現在）

人口／60,053人（-140）、男性／29,874人（-58）、女性／30,179人（-82）、世帯数／24,727世帯（-9）

